

第 38 回 ASE 研究会実施報告

中島 研吾

東京大学情報基盤センター

2018 年 11 月 26 日 (月) に開催された第 38 回 ASE 研究会¹では、米国サンディア国立研究所 (Sandia National Laboratories, USA) Scalable Modeling and Analysis Department に所属する Keita Teranishi 博士をお招きして、最先端の HPC 技術の応用に関するご講演をいただくとともに、関連分野の学生 2 名による講演も併せて実施した。学内外から合計 14 名の出席者があり、活発な議論が行われた。

表 1 プログラム

時間帯	講演者	題目
16:00 - 16:05	中島 研吾 (東京大学)	ご挨拶
16:05 - 17:05	Keita Teranishi (Principal Member of Technical Staff, Sandia National Laboratories, USA)	Scalable, Efficient Fault Tolerance in Asynchronous Many Task (AMT) Programming Models
17:05 - 17:25	遠藤 亘 (東京大学)	高性能インターコネクトとタスク並列を活用した分散共有メモリアイブラリ
17:25 - 17:45	椎名 峻平 (東京大学)	ほぼ決定的なスケジューリングを行うタスク並列処理系
17:45 - 17:50	中島 研吾 (東京大学)	閉会

¹ <https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/events/ase/38/38.php>